

膠原病患者での非結核性抗酸菌の感染状況と臨床・微生物の原因の分析に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年1月8日～2020年12月31日

〔研究課題〕 膠原病患者における非結核性抗酸菌の感染状況と臨床因子・微生物因子の解析

〔研究目的〕 非結核性抗酸菌(Nontuberculous Mycobacteria: NTM)とは抗酸菌という呼吸器感染を起こす菌のうち結核でない菌のことで、慢性呼吸器感染症の原因菌として近年増加えています。膠原病患者様では免疫調整薬を使用するため、その経過に影響を与えますが、膠原病患者様でも増加傾向が認められるか不明です。本研究では膠原病患者様におけるNTMの保菌、発症の推移、治療状況を調べます。

〔研究意義〕 膠原病患者様の中でNTMの発症の予測することができ、適切なタイミングで検査がおこなえるようになります

〔対象・研究方法〕 2009年1月1日から2018年12月16日まで当院内科に膠原病で外来通院もしくは入院し、抗酸菌培養検査でNTMが陽性となった成人の患者様を対象とします。患者様の病気、治療内容、抗酸菌培養検査、血液検査、NTM感染症の治療経過などについてカルテを参照して調べます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院内科

〔個人情報の取り扱い〕 研究中は、得た情報は本人とわからないように匿名化し、データは、それぞれパスワードを設定したファイルに記録し、内科研究室内の鍵の掛かるキャビネットに保管します。研究終了後は保管した情報は破棄します。

〔その他〕 研究に際して、患者様の金銭的な負担になることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：北沢貴利・医学部内科学講座・准教授

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表)〔内線 7645〕